

2025年12月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月1日

上場会社名 日本セラミック株式会社

上場取引所 東

コード番号 6929 URL <https://www.nicera.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷口 真一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部担当執行役員

(氏名) 本城 圭

TEL 0857-53-3838

半期報告書提出予定日 2025年8月12日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年1月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|--------------|--------|------|-------|------|-------|-----|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年12月期中間期 | 13,677 | 12.8 | 3,151 | 40.1 | 3,120 | 8.5 | 4,192 | 107.1 |
| 2024年12月期中間期 | 12,131 | 2.0 | 2,249 | 1.1 | 2,876 | 4.5 | 2,024 | 3.2 |

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 △552百万円 (—%) 2024年12月期中間期 4,331百万円 (47.8%)

| | 1株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益 |
|--------------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期中間期 | 193.03 | — |
| 2024年12月期中間期 | 86.54 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年12月期中間期 | 53,716 | 47,343 | 84.0 |
| 2024年12月期 | 58,347 | 52,247 | 85.5 |

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 45,126百万円 2024年12月期 49,893百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2024年12月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期 | — | 0.00 | — | 125.00 | 125.00 |
| 2025年12月期(予想) | — | — | — | 125.00 | 125.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 27,000 | 7.8 | 6,000 | 20.9 | 6,180 | 5.7 | 6,250 | 50.2 | 287.76 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 — 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 昆山日セラ電子器材有限公司

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2025年12月期中間期 | 27,231,257 株 | 2024年12月期 | 27,231,257 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年12月期中間期 | 5,749,389 株 | 2024年12月期 | 5,174,089 株 |
| ③ 期中平均株式数(中間期) | 2025年12月期中間期 | 21,719,126 株 | 2024年12月期中間期 | 23,389,987 株 |

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 5 |
| 中間連結損益計算書 | 5 |
| 中間連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (重要な後発事象の注記) | 8 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国は底堅さが見られたものの関税政策の不確実性を背景に企業や消費者のマインド指標は低下しつつあり、欧州は個人消費が底堅く推移するも、関税前の駆け込み需要からの反動により輸出が減少するなど、今後も米国の関税措置をはじめとする各国の通商政策が景気に与える影響が懸念されます。中国は駆け込みによる輸出の増加や政府政策の効果による個人消費の改善などにより持ち直しの動きが見られたものの、不動産市場低迷の継続や関税影響の顕在化などによる景気の下振れリスクに注意する必要があります。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより穏やかな回復基調にあるものの、米国関税措置に伴う輸出の減少や企業収益の悪化が懸念されるなど先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、ADAS向け車載安全製品の販売が堅調に推移したことや、照明・家電向け製品が顧客の在庫調整の一巡や法規対応に伴う需要増加により販売が増加したことなどから、当中間連結会計期間の当社グループ売上高は13,677百万円(前年同期比12.8%増加)となりました。利益面では売上高の増加や継続的なコスト削減などにより営業利益が3,151百万円(前年同期比40.1%増加)となり、経常利益は3,120百万円(前年同期比8.5%増加)、親会社株主に帰属する中間純利益は連結子会社である昆山日セラ電子器材有限公司の清算に伴う関係会社清算益の発生などにより4,192百万円(前年同期比107.1%増加)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ4,296百万円減少し41,475百万円となりました。その主な要因は、自己株式の取得や当社による配当金の支払いなどに現金及び預金が3,947百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ333百万円減少し12,240百万円となりました。その主な要因は、減損損失の計上などにより土地が463百万円減少したこと、フィリピン拠点における新工場の建設に伴い建設仮勘定が537百万円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ273百万円増加し6,372百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務が428百万円減少したこと、未払法人税等が593百万円増加したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,903百万円減少し47,343百万円となりました。その主な要因は、自己株式の取得により自己株式が1,547百万円増加したこと、連結子会社である昆山日セラ電子器材有限公司の清算終了に伴い為替換算調整勘定が4,568百万円減少したことなどであります。

当中間連結会計期間の連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前中間純利益6,077百万円や減価償却費の計上650百万円、棚卸資産の減少400百万円などのキャッシュ増加要因がありましたが、法人税等の支払額1,338百万円などのキャッシュ減少要因により1,839百万円の収入(前年同期3,400百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の預入などによる純額7,467百万円の支出、有形固定資産の取得による947百万円の支出などにより8,408百万円の支出(前年同期10,571百万円の収入)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払による2,754百万円や自己株式の取得による1,547百万円の支出などにより4,302百万円の支出(前年同期4,278百万円の支出)となりました。

以上の項目に換算差額を調整した結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は11,070百万円減少し13,736百万円(前年同期25,792百万円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年8月1日(本日)に公表いたしました「2025年12月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2025年6月30日) |
|---------------|--------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 32,330 | 28,382 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,919 | 4,705 |
| 電子記録債権 | 3,741 | 3,059 |
| 棚卸資産 | 5,417 | 4,933 |
| その他 | 364 | 395 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 流動資産合計 | 45,772 | 41,475 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,600 | 3,432 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,787 | 2,636 |
| 土地 | 3,176 | 2,713 |
| 建設仮勘定 | 643 | 1,181 |
| その他(純額) | 145 | 190 |
| 有形固定資産合計 | 10,354 | 10,155 |
| 無形固定資産 | | |
| 土地使用権 | 249 | 239 |
| その他 | 75 | 63 |
| 無形固定資産合計 | 325 | 303 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,779 | 1,677 |
| 繰延税金資産 | 32 | 34 |
| その他 | 207 | 185 |
| 貸倒引当金 | △125 | △114 |
| 投資その他の資産合計 | 1,893 | 1,782 |
| 固定資産合計 | 12,574 | 12,240 |
| 資産合計 | 58,347 | 53,716 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2025年6月30日) |
|---------------|--------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,610 | 1,627 |
| 設備関係支払手形 | 70 | 149 |
| 電子記録債務 | 1,547 | 1,119 |
| 未払金 | 366 | 384 |
| 未払法人税等 | 943 | 1,536 |
| 賞与引当金 | 21 | 20 |
| 役員賞与引当金 | 30 | 20 |
| その他 | 340 | 458 |
| 流動負債合計 | 4,931 | 5,317 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 418 | 415 |
| 繰延税金負債 | 700 | 590 |
| その他 | 49 | 49 |
| 固定負債合計 | 1,167 | 1,055 |
| 負債合計 | 6,099 | 6,372 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,994 | 10,994 |
| 資本剰余金 | 13,319 | 13,319 |
| 利益剰余金 | 32,526 | 33,958 |
| 自己株式 | △12,997 | △14,545 |
| 株主資本合計 | 43,842 | 43,727 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 586 | 508 |
| 為替換算調整勘定 | 5,347 | 778 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 117 | 112 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,050 | 1,398 |
| 非支配株主持分 | 2,354 | 2,217 |
| 純資産合計 | 52,247 | 47,343 |
| 負債純資産合計 | 58,347 | 53,716 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 12,131 | 13,677 |
| 売上原価 | 8,784 | 9,363 |
| 売上総利益 | 3,346 | 4,314 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,096 | 1,163 |
| 営業利益 | 2,249 | 3,151 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 217 | 160 |
| 受取配当金 | 29 | 33 |
| 為替差益 | 335 | - |
| 受取地代家賃 | 82 | 63 |
| その他 | 9 | 9 |
| 営業外収益合計 | 674 | 267 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | - | 260 |
| 賃貸収入原価 | 47 | 36 |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 47 | 297 |
| 経常利益 | 2,876 | 3,120 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 7 |
| 関係会社清算益 | - | 3,445 |
| 受取補償金 | - | 64 |
| 特別利益合計 | 0 | 3,516 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1 | 9 |
| 減損損失 | - | 513 |
| システム障害対応費用 | - | 37 |
| 特別損失合計 | 1 | 559 |
| 税金等調整前中間純利益 | 2,875 | 6,077 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 818 | 1,906 |
| 法人税等調整額 | 18 | △90 |
| 法人税等合計 | 836 | 1,815 |
| 中間純利益 | 2,038 | 4,262 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 14 | 69 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 2,024 | 4,192 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日) |
|----------------|--|--|
| 中間純利益 | 2,038 | 4,262 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 429 | △78 |
| 為替換算調整勘定 | 1,866 | △4,731 |
| 退職給付に係る調整額 | △3 | △5 |
| その他の包括利益合計 | 2,292 | △4,815 |
| 中間包括利益 | 4,331 | △552 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 4,086 | △459 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 244 | △92 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 2,875 | 6,077 |
| 減価償却費 | 673 | 650 |
| 減損損失 | - | 513 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 15 | △10 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 0 | △0 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △1 | △10 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 15 | △8 |
| 受取利息及び受取配当金 | △247 | △194 |
| 為替差損益(△は益) | △202 | 85 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △0 | △7 |
| 固定資産除却損 | 1 | 9 |
| 関係会社清算益 | - | △3,445 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △318 | △153 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 576 | 400 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 470 | △361 |
| その他 | 12 | △578 |
| 小計 | 3,869 | 2,966 |
| 利息及び配当金の受取額 | 258 | 211 |
| 法人税等の支払額 | △727 | △1,338 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,400 | 1,839 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △2,262 | △12,580 |
| 定期預金の払戻による収入 | 13,294 | 5,112 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △458 | △947 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 7 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2 | △0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 10,571 | △8,408 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △1,603 | △1,547 |
| 自己株式取得のための預け金の増減額(△は増加) | △397 | - |
| 配当金の支払額 | △2,277 | △2,754 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,278 | △4,302 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 361 | △199 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 10,054 | △11,070 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 15,737 | 24,806 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 25,792 | 13,736 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年11月8日開催及び2025年2月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式575,200株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、単元未満株式の買取も含めて自己株式が1,547百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が14,545百万円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。